

競技会参加校（チーム）の顧問（監督）の皆様へ

（一社）沖縄陸上競技協会

（１）参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様へのご協力をお願い。

新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、以下の留意点の遵守にご協力をお願いします。

- ① 参加選手の体調の把握をお願いします。少しでも体調の悪い選手は競技会への出場を辞退させる。体調管理チェック表（沖縄陸協ホームページからダウンロード）の作成と確認。体調管理チェック表を受付時に主催者に提出する。（体調管理チェック表は感染者が発症した場合のみに使用しその他に使用することはありません）
- ② 競技会へ出場する際はできるだけ選手のみとし応援、付き添いの者は3密を回避した行動を心がける。練習会場なども同様とします。ただし、熱中症など防止対策として指定地点（第1ゲート外側）に各校1名の付き添いをつけてもかわまわらない。競技会へ出場せず、補助員で参加する場合は例外とします。ご協力をお願いします。
- ③ 保護者、家族等の方の会場への来場の際は検温を受け3密を回避した行動を心がける。
- ④ 選手控所については、主催者で間隔をあけるため禁止場所を設定しますので（禁止の表示）、それ以外の場所で設置をお願いします。
- ⑤ 選手控所で休憩する場合は、フィジカルディスタンスを確保するよう指導をお願いします。また、大声で会話等することのないよう指導をお願いします。
- ⑥ 競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告すること。沖縄県新型コロナウイルス感染症相談窓口：098-866-2129

（２）参加者が競技を行う際の留意点

1) 基本的注意事項

参加学校（チーム）の顧問（監督）の皆様から競技会の参加者に対し、以下の留意点や遵守すべき内容を周知・徹底をご指導ください。

- ① 招集所では他の選手とはフィジカルディスタンスを確保し招集を受けること。
- ② 競技中に唾や痰を吐く行為は行わないこと。
- ③ 控所では、周囲の人とフィジカルディスタンスを確保する。大声で会話をしない。
- ④ 試合中などに選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。
- ⑤ ただし、緊急を要する場合は、手袋、マスク等防護体制を整えた競技役員が対応し医務員に引き渡す。（補助員には対応させない）

2)トラック競技

- ① レース中のマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用する。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ② レース終了後、手洗い・洗顔を徹底すること。
- ③ 混成競技控室は原則設けないが、設ける場合は、競技者はマスクを着用し競技者同士のフィジカルディスタンスを確保の上、換気を十分に行う。

3) フィールド競技

- ① 待機場所における選手同士のフィジカルディスタンスを確保する。
- ② 投てき器具については共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意

に手で顔を触らないよう注意する。

③助走練習、投てき練習時に並ぶときは、フィジカルディスタンスを確保する。

④選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用すること。

4) ウォーミングアップ会場の配慮事項

① フィジカルディスタンス確保の工夫。

③ 競技者自身のみでウォーミングアップを行う。(付き添いは付けない)

④ ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。

⑤ 雨天練習場は原則使用を禁止する。(必要な場合は主催者で連絡します。)

(3) その他留意事項

1) 体調の確認

学校(チーム)で参加する場合は、選手の体調管理のため、顧問(監督)の方が以下の書面(※別紙I)を作成し持参すること。

①氏名、所属、連絡先(電話番号)、保護者氏名

②大会前1週間における以下の事項の有無

※別紙I:【大会前/提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート

JAAF

【大会前/提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート (第2版8月11日改訂)

※本チェックシートは各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、会場可否の判断および必要ご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要に応じて保健所等に提供することがあります。 個人情報の取得・利用・提供に同意する

※大会1週間前から記入し、大会当日、主催者の指示に従い指定の場所に提出すること
※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること(体温0.1℃単位の数値を記入)

No.	チェックリスト	✓	○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	○
1	のどの痛みがある												
2	咳(せき)が出る												
3	痰(たん)がでたり、からんだりする												
4	鼻水(はなみず)、鼻づまりがある ※アレルギーを除く												
5	頭が痛い												
6	体のだるさなどがある												
7	発熱の症状がある												
8	息苦しさがある												
9	味覚異常(味がしない)												
10	嗅覚異常(匂いがしない)												
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
12	薬剤の服用(解熱剤を含む上記症状を緩和させる薬剤)												

氏名 _____ 所属(学校名など) _____
連絡先(電話番号) _____ 保護者氏名 _____

2) マスク等の準備

学校(チーム)の競技会参加者がマスクを準備していること。参加者の受付、着替え、など運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときにはマスクの着用を指示する。

3) 競技会の参加前後の留意点

競技会に参加する学校(チーム)は、競技会前後のミーティングなどで3密を避けること。会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮すること。

4) 手洗いの実施

競技会開催・実施の間に手洗いをこまめに行うよう指導してください。

①手洗いは、30秒以上行うこと。

②手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備すること。タオル等を共用しない。

③手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

④フィールド競技に出場する競技者は、競技終了後手洗い、洗顔を実施する。

5) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

更衣室、休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導ください。

- ①広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
- ②ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室することがないよう指示。
- ③室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。
- ④更衣室等では換気扇を常に回す。換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。更衣が終了したら速やかに退出すること。
- ⑤シャワールームの使用を禁止する。

6) 洗面所

洗面所（トイレ）も感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。そのため以下に配慮して使用するよう指導ください。

- ①トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー）を使用した場合は、こまめに手洗いをする。
- ②トイレを使用した場合は、便器の蓋を閉めて汚物を流すよう指示すること。
- ③手洗いは、30秒以上行うよう指示すること。
- ④手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備するよう指示をする。

7) 観客の管理

- ①集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける。大声をだして応援しない。また、タイム読みも禁止する。手拍子での応援は可。

8) ごみの廃棄

各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して回収を行うこと。

- ①鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉すること。
- ②ごみを回収する人は、手袋とマスクを着用すること。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗うこと。

[施設における配慮事項]

(1) 施設入場時の配慮事項

- ①手指消毒剤の準備。（競技場管理者及び競技会主催者）
- ②フィジカルディスタンス確保の呼びかけ。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ①常時換気の実施（窓開け・戸開けの実施）
- ②諸室・招集所などの座席配置の工夫。（3密の回避）
- ③直接の接触回避の工夫。
- ④多くの者が接触する可能性がある個所の清掃・消毒を通常よりも多く行う。
（施設管理者の方への協力依頼）
- ⑤トイレの清潔化の徹底。（便座の蓋をしてから流す）
- ⑥ゴミは各自持ち帰るように事前に周知する。また、アナウンスも行う。
- ⑦発熱者が出た場合の隔離用の部屋を確保する。適切な部屋が確保できない場合は、飛沫感染防止の対策をとる。

[報道取材者への対応事項]

取材の申請をし、許可された取材者は以下の点を遵守してください。

- ① 大会本部に取材の申請を必ず行う。その際、体調管理表（主催者準備）を提出すること。
沖縄陸協ホームページより、体調管理チェック表（大会前、大会後）をダウンロードする。
- ② 取材人数は、1社1名を基本とするが、テレビ等の場合は取材1名、撮影1名とする。
- ③ 取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に必ず従うこと。
- ④ 会場内では、フィジカルディスタンスを確保し、3密を防ぐこと。
- ⑤ 取材中は、必ずマスクを着用すること。また、ビブスを必ず着用すること。
- ⑥ 選手・監督への取材は原則行わないこと。取材の必要がある場合は、3密を回避し短時間で取材を行う。
- ⑦ 会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がける。